

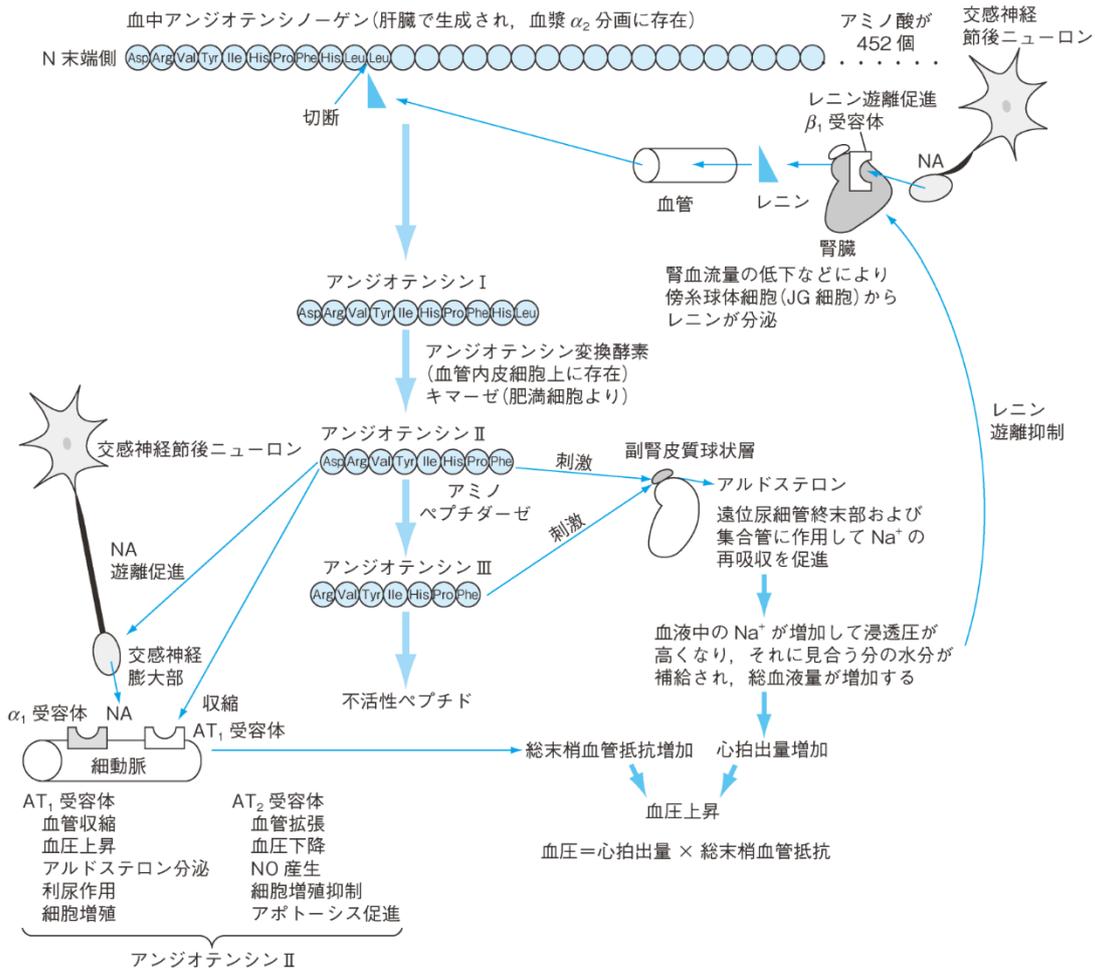
正 誤 表

「パートナー薬理学」(第3版第2~4刷)

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行, 箇所	誤	正
9	表 1-1 「酵素」 の列の下から 12 行目	トランスフェラーゼ	UDP-グルクロノシルトランスフェラーゼ
9	表 1-1 「酵素」 の列の下から 9 行目	アセチル CoA	N-アセチルトランスフェラーゼ
9	表 1-1 「酵素」 の列の下から 8 行目	トランスフェラーゼ	グリシン N-アシルトランスフェラーゼ
9	表 1-1 「反応」 の列の下から 9 行目	アシル抱合	アセチル抱合
11	図 1-7 説明文の 1 行目	受動的な 過	受動的な 過渡
27	下から 2 行目	一塩基多型	遺伝子多型
62	図 2-13 下から 7 行目	鎮痛代用薬	鎮痙代用薬
142	上から 10 行目	全草や草の一部の出液	全草や草の一部の滲出液
170	図 5-7		下記図に差し替え
343	下から 16 行目	リバビリン	ラミブジン
361	上から 3 行目, 11 行目	尋常性 瘡	尋常性座瘡
363	構造式タイトル	尋常性 瘡	尋常性座瘡
363	上から 8 行目, 9 行目, 16 行目, 17 行目	尋常性 瘡	尋常性座瘡
366	下から 3 行目	尋常性 瘡	尋常性座瘡

(株南江堂 2021.4)



◆ 図 5-7 アンジオテンシン II の生成経路と主な作用